

2023～2024年度クラブ目標

創立1986年

『みんなが楽しい ローター』



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ

会長 佐藤 幸彦
幹事 村上 堅二

第1802回例会

令和6年4月18日 (12:30～13:30)



○ソング

- 我等の生業

○スマイルBOX

- 佐藤幸彦会長（石部会員、渡部会員、根本会員、卓話ありがとうございました。4月14日、小峰城さくら祭は、満開のもと、大盛況でした。）
- 村上賢二幹事（本日は渡部様、根本様、石部様ありがとうございました。）
- 永野文雄会員（成井会員、会社社長交替おめでとうございます。お疲れ様でした。卓話担当メンバーありがとうございます。）
- 鳴島三夫会員（誕生日のお祝いありがとうございました。いつのまにか、68歳になりました。）

成績表第3回佐藤幸彦幹事・村上堅二幹事年度コンペ

優勝	永野文雄	8位	成井正之
準優勝	中嶋一貴	9位	居川孝男
3位	吉成茂	10位	佐藤幸彦
4位	前原俊治	11位	長克則
5位	齋藤孝弘	12位	鈴木孝幸
6位	青木大	13位	堀田一彦
7位	運天直人	14位	諸橋和典



▶第1802回例会出席状況 (R6年4月18日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	70名
Ⓒ ①の出席者数	21名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	12名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	33名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	63
⑩ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	52.3%

▶例会日：第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

佐藤幸彦会長



500年後の皆さんの子孫が、もしかすると佐藤を名乗ってるかもしれない。そんな皆さん、こんにちは。これはテレビニュースで皆さん見たかと思うんですが、東北大学の教授が今の結婚時どちらかの姓を選ぶという法律があるんですが、この現行制度のままですと500年後にはすべて佐藤になってしまうであろうということが発表されました。今、夫婦別姓を考えているところ、政府の考えているところではございますが、選択的夫婦別姓になったとしても1300年後には佐藤になるであろうということがその教授が言っておりますので、それは皆さん佐藤でよろしくお願ひしたいと思ひます。その佐藤が多い理由をちょっと調べてみたんですが、簡単にいうと名乗りやすかったという部分とですね、一番大きいのがですね、佐藤という大名がいなかったんですね、この日本の歴史において。皆さん有名な、織田家、豊臣家、徳川家、またこの地元、松平家とあるんですが、佐藤家という大名はなかったそうでございます。それで、東北中心なんですが、藤原鎌足が一番最初だと言われてるんですが、栃木県の佐野市の藤原の藤が変わって佐藤になったという説と、新潟県佐渡島にいた藤原さんを佐藤と名乗ったとか。斉藤さん、近藤さん、加藤さん、伊藤さん、遠藤さんという藤が付く苗字いろいろあるかと思うんですが、すべて藤原鎌足が起点になってるようでございます。これはいろいろ説があるんでございますけれども、そういう説が載っておりました。これ苗字についてなんですが、明治3年、今から150年前ですが、それまでは苗字って名乗ってなかったんですね、武家、公家は名乗ってましたが、明治3年に明治政府が平民苗字許可令を出したそうでございます。ところが、なかなか苗字を名乗ると税金取られるだとかお金いっぱい取られるとか流れまして、皆さん名乗ってなかったらしいですが、それから5年後、明治8年に平民苗字必称義務令、必ず苗字を名乗りなさいということが出たそうでございます。ということで、今現在に至ってるわけでございますけれども、現在苗字の数は20万種類あると言われております。是非、皆さん自分の苗字のルーツを辿ってみてはいかががでしょうか。さてロ

ータリーの話ですが、皆さんお気づきでしょうか。私の背面にあるロータリー旗が変わりました。これが公式のロータリー旗になるそうでございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。さて、本日会員の声ということで、石部会員、渡部会員、根本あゆみ会員ということで卓話をお願ひしたわけでございますけれども、クラブの目標でもございました、会員一人はせつかくロータリーの会員になったんですから、この演台において少しでもいいから何か話していただきたいということでお願ひしてるわけでございますので。まだ、この演台で話したことの無いという会員の皆様、是非このあと会員の声の例会もあと2回予定されてるかと思ひますけれども、是非よろしくお願ひしたいと思ひます。さて、来週ですがいよいよ観桜会、後程また詳しく場所とかあるかと思ひますけれども、是非皆さんで楽しんでいきたいと思ひます。また、その次の次の週なんですが5月9日、青少年担当なんですけれども、元西郷村教育長でございましたカトウユキオ先生に卓話をお願ひしておりますので、是非ご出席のほうよろしくお願ひしたいと思ひます。私の挨拶は以上となります。よろしくお願ひいたします。

■幹事報告

村上堅二幹事



- ロータリー米山記念奨学会事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま289号
- 右近ガバナー事務所：いわき内郷ロータリークラブ会長変更について
- 白河市国際交流協会会長 内藤義久：令和6年度「白河市国際交流協会総会」の開催について(通知)
- ガバナー右近八郎 ガバナーエレクト 早川 敬介：2023-24年度地区大会決算報告承認並びに2021-25年度地区賦課金(案)、地区資金予算(案)の送付について

■正会員授与式

正式にロータリアンとして4月からお世話になります。皆さんと共に活動することで充実した時間が過ごせたらなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



齋藤愛会員

■本日のプログラム

○会員の声例会 プログラム委員会



皆さん、こんにちは。本日は会長肝いりのプログラムということで、本来であればもっと壮大なプログラムが予定されていたんですが、会長がどうしてもと言うので会員の声を先程も会長挨拶の中でしたように、皆さんから声を聞きたいということで、本日は3名の方に卓話をお願いしております。ショート卓話でございますので、ちょっと時間に限りはございますけれども事前をお願いしておりますので、まずはですね根本会員のほうからお願いしたいと思います。

吉野敬之副委員長

○根本あゆみ会員



皆さん、こんにちは。卓話するのは新入会員卓話以来なんですけども、ちょっとやりたくなかったんですけど、何を喋っていいのかわかんないですね。とりあえず運天君から電話いただいて、とりあえず生きてると言う事だけを言えということだったので、とりあえず私がロータリーに入会してから今までを振り返ってみました。年度で言うところとちょっとわかりにくいので、来月私51歳になるんですけども、ロータリーに入ったのが40歳の時でした。その後ですね、40歳の入った年というのはうちのお店も従業員もちゃんといたし、売り上げもそれなりに取れるしお客さんにも恵まれて。私が社長業としてロータリーに出席することも可能な時期でした。それを44歳、4年間なんとかここに夜の飲み会楽しみで来てたんですけども、44歳の時にちょうどスタッフがアルバイトさんたちが転職したり、いろいろな事情があり、社員同士で結婚した夫

婦が妊活始まったりということで人手不足になっちゃったんですね。お客さんはいっぱいいるんだけどスタッフがいないということで、12月の忘年会シーズンを迎えられないなこれかと思って、11月に一回お店を閉めました。その時、本当に今思えば世界一周旅行でも行けばよかったのになと思うんですけど、なんかとりあえず人生の中での休憩時間というか、そんな感じで4か月間過ごしました。その後、45歳の時に今のお店リニューアルオープンしまして、カウンター席とかを作って順調に今までの売り上げの半分でしたけど、それでも全然やってこれて順調に商売やってこれました。それが46歳までですね。だから、ロータリーに入ってから6年間は結構安泰でいられました。今から5年前、47歳の時に皆さんもいろんな思いしましたと思いますけども、新型コロナで4月に初めての緊急事態宣言というのが出まして、やっぱりうちは居酒屋なのでお酒を出す商売業態なので、もう明日から仕事をしなきゃいけないというのは自分の人生の中で一番きつい時でしたね。今思い出しても泣きそうですけど。今までは、仕事をすれば何とかなる。会社を守るため、自分の生活を守るため、自分が頑張ればどうにかなるという時代だったのが本当に取り崩されちゃって、どうしていいかわかんないような時代が続きました。翌年の48歳の時は時短営業。これ調べてみたら年間この年は100日間営業できない日がありまして、この間テイクアウトとかいろいろやったんですけど、実際テイクアウトというのは大変な思いをしても赤字の垂れ流しになるんですよ。容器代もかかるし、食材、結局お料理の原価率というのが大体50%くらいかかるので、そこに容器代もかかってという形と本当きつかったですね。翌年まで49歳になった時ですかね、2022年です。令和4年。その時に最後の時短営業1月末から2月までありまして、そこからが補助金は一切なくなりました。売り上げは50%くらいですね、3年間50%以下になった時もありました。前年比というか、通常の25%しかない、要は75%減というふうな時代もありまして、大体平均して売り上げ的にはこの3年間、令和2年3年4年ここまでは平均して大体売り上げ通常の50%しかありませんでした。そこにちょっと時短の協力金とかが入って何とかやってたんですけど、令和4年49歳の時が一番きつくて、一切補助金も出ないし、もう本当に赤字の垂れ流しでやってました。実際、コロナで借りたお

金も去年50歳ですか、その時に借入金自体ももうなくなっちゃって、正直会社としてはもう底を突いた状態になりました。だから、多分今倒産件数とかが増えてるというのは、やっぱりそういう事だと思います。追加融資を受けるかどうかと悩んだんですけど、私も独り身ですし後継者もないし、どうしようかなと思いつながら自分の老後資金を取り崩して、今何とか店開けてるような状態です。それが去年までですね。今年に入って、ありがたいことにだんだん皆コロナの緊張感なくなってきたというわけじゃないんですけど、人の出も良くなってきて売り上げは回復基調にあるんですけども、やっぱりこの4年間の飲食店の大打撃というのは、私の経営者人生の中ではちょっと取り返しがつかないというか、取り返すまでにはどれだけの時間がかかるのかなというような今現状です。ただここにいらっしゃる皆さんも沢山のうちのお店に来ていただいて本当にみんなの顔を見れた時が凄く嬉しいなと思います。まだ、あんまり来たことのないお客様。お客様という言い方おかしいですけど、会員の皆様もこの機会にちょっと私を助けると思って会いに来ていただけたらと思います。以上です。ありがとうございました。

○渡部勝也会員



どうも皆さん、こんにちは。久しぶりの卓話になります。12分って言ったんですが、運天さんからは3分から5分でいいというふうに言われてます。ですから、私は5分ぶんしか用意しておりませんので、よろしくお願いたします。今回はですね、白河西ロータリークラブの創立当時の話をしたいと思います。白河西ロータリークラブは、親クラブであります白河西ロータリークラブが1985年から86年度の会長岡住さん。それから、特別代表の松浦さん、拡大委員長の有賀さんが中心で、白河で二番目のロータリークラブを作ろうということで、いろいろ準備をなさっておりました。1986年4月12日、白河西ロータリークラブが創立をいたしました。創立総会は「新白河サンプラザ」、今の「ベルヴィ白河」で盛大に執り行われました。同年5月6日、RIより加盟承認を受けまして、11月8日に認証状伝達式が会員、それからご婦人参加のもとに盛大に行われました。白河クラブから「東北ガス」の

会場になりました「はくや」の久保木典雄さんが3名移籍されまして、合計で27名で発足いたしました。現在残っている方は、佐藤清作さん、片倉先生、宮本先生、富永章さん、永野さん、私の6名になってしまいました。しかしですね、チャーターメンバーの後継者として、佐藤会長、それから藤田龍文さん、櫻岡さん、吉成茂さん、渡辺道直さん、それで「東邦銀行」の寺島さん、「東京海上日動」の中嶋さん、7名がおります。そして、非常に残念なことながら亡くなられた方が8名ほどおります。そういう事を考えますと、38年間で6名にチャーターメンバーがなくなってしまったというのは、やむを得ないのかなというふうに思っております。西クラブとして忘れてはいけない方が沢山おりますけれども、その中で山形米沢ロータリークラブの九里茂三さんという方がおります。この方は「学校法人九里学園」の理事長をされておられて、福島県それから山形県の当時の253地区のガバナーをされておりました。九里さんは事あるごとに白河に来ていただきまして、いろいろご指導していただきました。特に、藤田弥五兵衛さんや林さんは大変お世話になっていたのでございます。私の家にも九里さんから頂いた書を掛け軸と、それから額装にして日本間に飾っております。我がクラブは次々年度、金田ガバナーが輩出されます。今まで、ガバナー補佐って4名いたんですよ。それで、それを皆さんご存じでしょうか。お1人が、林さん。それから、吉成清志さん、金田さん。そして、一番最初に当時分区代理と呼んでいたんですけども益田森治さんがおります。益田さんは途中、体調を崩されまして分区幹事だった富永章さんが当時いろいろ仕切っていたのを見ております。私の職業分類は印刷業でありますので、入会当時からクラブ会報に関わってまいりました。最初はB5版4ページくらいで、記事もかなり抜粋したものでした。会長の時間とか卓話は、すべて原稿を提出をお願いをしておりました。ある時期から例会場で録音をとり、委員会で担当を決め聞き取りをするようになりました。それが結構大変な仕事でした。私の家内は木曜日になると、体調を崩して寝込むようなこともありました。ある人は奥様にプレゼントしたり、現金を払ったりしてやっていただいたようございます。そんなこんなで文字起こしを外注することになりました。宮本先生の紹介で、裁判所で速記をされていた方をお願いすることになり

ました。それによって、週報作りはかなり楽になりました。現在はiPhoneで録音したものをメールで送り、それを書き起こしたものを返送していただいておりますので、尚一層便利になりました。でも、最近是非常に例会の内容が充実しておりますので、8ページ以上になることがあります。聞き取りの方は大変な時もあります。今週まで1801回の週報を発行しております。今まで一度も遅れたことがございません。クラブ会報委員会、並びに聞き取りをされた方、それから委員会に関係ないのに毎週校正をしていただいた永野文雄さん、大変ありがとうございました。私も80歳になります。いつまでこれができるかわかりませんが、頑張りますので一つご協力の程よろしく願いたします。以上でございます。

○石部辰雄会員



「南湖自動車学校」の管理者の石部辰雄でございます。頭が空っぽなものですから、時間の調整が難しいと思いますが、私のところは2回目というか、県の幹旋土地に引っ越してきたんですね。それが平成19年度の6月2日です。それは道路交通法改正の日、ちょうど6月2日に合わせて今のホンダ自動車の所からこっちに越して来ました。出来たのは54年程の前でありまして、今、小櫻社長になっていますが初代はその爺ちゃん小櫻タカシであります。それは昭和45年頃の話であります。私はここの勤務に来たのは昭和36年の4月に赴任しまして、その時だったかにその爺ちゃんが警察署次長をやっております、そこからのスタートであります。今の社長はその初代の人の子孫で、私はここに勤めて14年程になりますが、たいした能力もなくでですね、ここまで来てしまいました。自動車学校というのはご存じのように、一般の民間会社が免許行政に携わるということの許可が出ましたのが昭和35年だったと思います。昭和35年6月25日、法律が改正になったように記憶しておりますが、毎年6月25を語呂合わせで無事故と、6月25日無事故の日と合わせて法律ができてスタートしたようでした。今、間もなく6月25日ですか、来るわけですが、本当ならば学校を一日開校とかですね、いろんな取り組みやる時ですが、今のところこれといった予定はありません。どの

私平成22年に勤務してからその年に2500名をちょうどジャスト2500ですね。送り出した記憶があります。その次、今度は震災になって750くらい減少になりました。そして徐々に上がってきまして、一昨年は学校出来て以来の人数を消化したというか送り出したというか、2585名程を送り出して、今はその半分以下少なくなっております。毎月、各学校のデータが数字で出てきますが、自動車学校というのは県内で37か所ですね。自衛隊の福島駐屯地、あそこの一つありますのであれを入れて38か所ありますが、三分の二程度は前年比マイナスであります。うちは去年、相当マイナスになりまして、県内一番のマイナス数でありました。一番多い自動車学校がどこかという、郡山の昭和自動車、「昭和ドライビングスクール」というんですか、あそこがいつもずっとトップであります。私、就職した時はうちの学校はその次、第2位だったんです。震災後、いわきは居住制限区域ではなかったようですが、富岡と浪江が制限区域になりまして、そこのお客がいわきの「大平自動車学校」ってあるんです。「大平自動車学校」にお客さんが流れたのかなと思います。それで私の学校は2位から3位に落ちこまして、また3位から2位になって行ったり来たりしておりますが、今はずっと下がりがして4位か5位くらいに下がりましたね。各学校マイナスといいますが、プラスの所が約7~8校あります。たいした大きな数字ではありませんが、ほとんどマイナスが多いと。五箇中学校がなくなったということが直接影響してるわけではありませんが、それだけ子供も数が少なくなったのは間違いありません。そして、子供さんがいてもその自動車に関心を持たないというか、今までと違ってですね。そういう事もあるんでしょうか、うちのほうでもマイナスになっております。そして、内容的にはその自動車教習場の有資格者を出して送り出す。例えば新入社員の研修をやってくれとか、その事業所によっては違反者を集めて講習をやってくれとか、そういうことあったり、うちで出張したり来てもらったりしてやっております。そして、卒業証明書を出してやって、その生徒たちは免許センターとか他府県の免許センターで本免の試験を受けて合格して一人前の免許優良ドライバーになってくわけですが。去年の始め頃は、この本免学科合格率第1位だったんですね、うちの学校は。今は5位か6位、ずっと下がってしまいました。仮免うちの

ほうで卒業するまでやりますが、簡単な問題であっても結構見えますと間違いもなかなか合格点取れない者も結構いるようですね。毎日私もはっぱかけて免許本免学科に影響するから仮免でも勉強しろと言っておりますが、なかなか言うことを聞かないというかね、思ったとおりになっておりません。あとは、高齢者講習70歳以上は免許更新時に証明書が必要ですから、なんぼかでも来てもらっております。以前までは認知度合のテストをやるわけですが、これを点数付けるんですね。前は75点以上でない証明書を出さないというかそういう状態だったんですが、今は35点に下がりました。確か75点という数字ですとね、なかなか難しい。私、ここのOB会の会長をやったことありますが、先輩、個人の名前言っちゃあれですが、講習受けてテスト受けたらそれで合格する点数出なかったんですね。だから、内容的に2時間講習が3時間講習で金高いの出して証明書貰ってとか、そういう者もおりました。今は35点に下げて、本当の病気なら別ですが病気ならばそうなっちゃうんでしょね。35点以下になると証明書は、点数は出しますが、高齢者講習受けたっていう証拠になりません。そして、その人はどうするかというとお医者さんに行って診てもらいなさいとこうなるんですね。それで、お医者さんが認知症ですとこうなれば、それが自動的に免許取り消しとこうなるんですね。講習受ける人の中には違反者もおります。11項目だかの違反あるんですね。それをした者に対しては、その旨のはがきの空白というか、欄外に技能検査を受けなければなりませんってこう書いてあるんですね。その人はうちに来て指導員の車に乗って、そして技能検査を受けて80点以上取らないと合格の証明書を出せませんって。その人が落っこつたとすれば、合格するまで何回でも何十回でも受けてもらって結構ですが、ほとんど何回か受けて合格しますが、そんな仕組みになっております。そんなとこですね。あと特に聞きたいことありましたら、いつでも電話とかお茶飲みにおいでください。私、説明しますので。そんなとこで、よろしく申し上げます。

○佐藤幸彦会長

時間がちょっとあるので2~3分程。根本会員、ありがとうございます。私の好きな言葉で「人間万事塞翁が馬」という諺がございまして、これ皆さんご存じ

かと思うんですが、中国にお爺さんと息子さんがいまして馬を飼ってたそうでございます。馬が逃げられてしまったんですね。村の人たちは「いやー大変だな、馬逃げられちゃって。」と言ったんですが、お爺さんは「いや、これは何か良いことの始まりかもしれない。」ということで、その後その逃げた馬が数年後に子供を連れて頭数を増やして帰って来たんですね。それがお爺さんの考えですかね、これは何か悪いことの始まりかもしれないと。良いことがあった時には悪いこと始まり。悪いことがあったら良いことの始まりと考える。その息子さんが足の骨を折ってしまったんですね。そしたら、村の人達は「いやー大変だね、息子さん足の骨折っちゃって大変だね。」と言ったところ、お爺さんは「いや、これ何か良い事の始まりかもしれない。」中国で戦争が始まりまして、日本でいう赤紙が来たんですけども、その息子さんは足の骨を折ってたために行かなくて済んだというような、ちょっとかなり端折ってますけども「人間万事塞翁が馬」という諺で、悪いことがあったら良いことの始まりだと思いなさいという諺がありますので、根本会員、悪いことあったら必ず良いことがありますので、是非期待していただきたいと思います。渡部会員、ありがとうございます。やっぱり、こう時々歴史を語ってもらって非常に私たちも勉強になりますので、また機会がありましたらよろしくお願ひしたいと思います。石部会員、ありがとうございます。私たちも講習会を受ける年代がもうすぐ迫ってくるんですけども、頑張っ受講したいなと思っています。わたし事で恐縮ですが、いろんな学校皆さんも通ってたかと思うんですが、小学校、中学校、高校、大学とあるかと思うんですが、私卒業してない学校が一つだけありまして、自動車学校卒業してないんですね。仮免だけは取ったんですけども、その5日後に福島の庭坂に行っちゃってちょっと一発で取っちゃったんですけども。自動車学校は卒業してなくて、それも1か月か2か月後、自動車学校から電話が来まして仮免許切れちゃいますよっていった頃にもう車に乗ってたんですが。その時に、おふくろが「お前、自動車学校卒業してないで、免許持ってないで、何乗り回してんだ。」なんて怒られた記憶がありますけども。そんな形で、わたし事挟んで恐縮でしたけれども、すみません。御礼といたします。ありがとうございます。